

# 【特集 ねじめ正一】

## 高円寺図書館 2019年3月号



ねじめ正一氏講演会風景 於高円寺図書館 2018年2月24日

杉並区立高円寺図書館

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南

2-36-25 電話 03-3316-2421

《最近買った本等から》

書名	編著者等	出版者等
日本食と出汁	松本仲子	雄山閣
総考現学	細田博子	里文出版
トコトンやさしいボイラーの本	安田克彦他	日刊工業新聞社
世界で一番美しい病原体と薬のマイクロ図鑑	C・ソルター	エクスマレッジ
住むこと生きること 追い出すこと 9人に聞く借上復興住宅	市川英恵	クリエイツかもがわ
偽善への挑戦 映画監督川島雄三	カワシマクラブ編	ワイズ出版
3・11ー〈絆〉からの解放と自由を求めて	田中かの子	北樹出版
和紙植物	有岡利幸	法政大学出版局
オリンピックと東京改造	川辺謙一	光文社
オランダ公共図書館の挑戦	吉田右子	新評論
図解日本音楽史	田中健次	東京堂出版
暴力を受けていい人はひとりもない	阿部真紀	高文研
発達障害を職場でささえる	宮木幸一	東京大学出版会
スマホ社会の落とし穴	清川輝基他	少年写真新聞社
客船の世界史	野間恒	潮書房光人新社
幕末維新史年表	大石学編	東京堂出版
追跡！辺境微生物	中井亮佑	築地書館
組合せ数学	R・ウィルソン	岩波書店

「明治一五〇年」で考える	D・ボツマン他編	山川出版社
スポーツビジネスを知るための基礎知識	浦久保和哉	文眞堂
貧困問題最前線	大阪弁護士会編	明石書店
フェルメール作品集	小林頼子	東京美術
ソーシャルペタコジーから考える施設養育の新たな挑戦	M・スミス他	明石書店
メンタルヘルス問題のある親の子育てと暮らしへの支援	松宮透高他監修	福村出版
山椒魚の忍耐 井伏鱒二の文学	勝又浩	水声社
周縁から生まれる ボーダー文学論	越川芳明	彩流社
レッドカード 汚職のワールドカップ	K・ベンシンガー	早川書房
#黙らない女たち インターネット上のヘイトスピーチ・複合差別と裁判で闘う	李信恵他	かもがわ出版
社会の障害をみつけよう 一人ひとりが主役の障害 平等研修	久野研二	現代書館
親鸞と聖徳太子	島田裕巳	KADOKAWA
オリンピック全史	D・ゴールドブラット	原書房
辺野古 海と森がつなぐ命	中村卓哉	クレヴィス

入所施設だからこそ起きてしまった相模原障害者殺傷事件 隣人を「排除せず」「差別せず」「共に生きる」ための当事者視点の改革	河東田博	現代書館
ネルソン・マンデラ	R・フリードマン	西村書店
大相撲決まり手大図鑑 全82手	ベースボール・マガジン社編集	ベースボール・マガジン社
減災と復興 明治村が語る関東大震災	武村雅之	風媒社
機械カニバリズム 人間なきあとの人類学へ	久保明教	講談社
辞書編集、三十七年	神永暁	草思社
井上安治版画集 「明治の東京風景」	井上安治	阿部出版
動物が見ている世界と進化	S・パーカー	エクスナレッジ

<3月の行事・展示> ※展示されている本は借りられます。

◎特別行事・展示

名称・テーマ等	場所・日程等	内 容
「昔の高円寺とその周辺」展	31日(日)まで。 階段踊り場	大正から昭和にかけての高円寺近辺の写真を展示中。
春のスペシャルおはなし会 当日、直接会場へ。	6日(水)午後3~4時 1階講座室 対象:幼児~小学生と保護者	ボランティアと職員がたっぷりお話や手遊びをします。

講演会 「昔の高円寺、 今の高円寺」 ※申込受付終了	16日(土)午後2~4時 1階講座室	詩人・作家のねじめ正一氏に、生まれ育った高円寺について講話して頂きます
春をよぶお話会 (大人向け語りの会) 当日、直接会場へ。	17日(日)午後2~3時 1階講座室 対象:語りを聴ける小学生以上	ボランティアや職員が、本を見ないストーリーテリング(素話)を行います。

◎その他の展示

名称・テーマ等	場所・日程等	内 容
ねじめ正一展	2階一般展示コーナー	ねじめ正一氏の詩集・小説・絵本等を展示しています。
新聞読んで 読まないなんてもったいない!!	2階 YA コーナー	ニュースならパソコンやスマートフォンで読めばカンタン!でも新聞ってそれだけじゃない!紙面いっぱいにあふれている情報を読むことを楽しめる本を展示しています。
ことば	2階児童絵本・読物コーナー	声を出して読みたくなるような本や、ことばあそびが楽しい本を集めました。
育父部(いくちぶ)おすすめのえほん	2階児童コーナー入口	子どもに読み聞かせをしているグループのお父さんが、おすすめする絵本を展示しています。

## ねじめ正一(詩人・作家)

1948年6月16日、高円寺生。

本姓禰寝。父は、俳人のねじめ正也。

杉並区立杉並第四小学校、杉並区立高円寺中学、日大二高卒業。青山学院大学中退。

1981年、詩集『ふ』で現代詩の登竜門である第31回H氏賞受賞。

1989年、自らの少年時代をもとにした小説処女作『高円寺純情商店街』(新潮社)で第101回直木賞受賞。

このほか、小説『荒地の恋』(文藝春秋)で第3回中央公論文芸賞、『商人(あきんど)』(集英社)で第三回舟橋聖一文学賞を受賞。

子どもの本も多数著し、2004年、『まいごのことり』(佼成出版社)で、ひろすけ童話賞受賞。

父から引き継いだ「ねじめ民芸店」を阿佐ヶ谷パールセンター商店街で営み、暮らしに根差しながら朗読や創作活動を積極的に行っている。

近著では、『むーさんの自転車』(中央公論新社)、『ナックルな三人』(文藝春秋)。



### 【詩集・小説等】

- |                     |      |
|---------------------|------|
| ○『ねじめ正一詩集』          | 思潮社  |
| ○『高円寺純情商店街 本日開店』    | 新潮社  |
| ○『高円寺純情商店街 哀惜篇』     | 新潮社  |
| ○『熊谷突撃商店』           | 文藝春秋 |
| ○『熊谷キヨ子最後の旅』        | 文藝春秋 |
| ○『そこまでやらなくてもいいのに物語』 | 角川書店 |
| ○『恋愛さがし』            | 講談社  |
| ○『赤チンの町』            | 新潮社  |

- 『昼間のパパと夜明けの息子』
- 『こちら駅前探偵局』
- 『おしっこと神様』
- 『眼鏡屋直次郎』
- 『出もどり家族』
- 『万引き恋愛記』
- 『長嶋少年』
- 『認知の母にキッスされ』

### 【エッセイ等】

- 『ねじめの歯ざしり』
- 『ご近所パラダイス』
- 『今日もトットと陽はのぼる』
- 『「ことば」を生きる』
- 『ニヒャクログが上がらない』
- 『風の棲む町』
- 『言葉の力を贈りたい』
- 『我、食に本気なり』
- 『ぼくらの言葉塾』
- 『おふくろ八十六、おれ還暦』

### 【児童書・絵本等】

- |                      |       |
|----------------------|-------|
| ○『きちょうめんななまけもの』      | 教育画劇  |
| ○『あーちゃん』             | 理論社   |
| ○『かあさんになったあーちゃん』     | 偕成社   |
| ○『がっこうのうた』           | 偕成社   |
| ○『ぼくのおばあちゃんはキックボクサー』 | くもん出版 |
| ○『ぼくらのウソテレビ』         | くもん出版 |
| ○『徳田さんちはおばけの一家』      | 講談社   |

- 日本経済新聞社
- 読売新聞社
- 光文社
- 集英社
- 光文社
- 集英社
- 文藝春秋
- 中央公論新社

- リポート
- 読売新聞社
- PHP研究所
- 講談社
- 思潮社
- 日本放送出版協会
- 日本放送出版協会
- 小学館
- 岩波書店
- 中央公論新社

## 最近の新聞記事から



### 〈現・気象神社〉

その跡地を、1983年杉並が譲り受け、現在は杉並区立馬橋公園になっています。

当初、気象神社はそれほど知られていませんでしたが、1993年気象予報士が創設されると、合格祈願の参拝客が増加。

野球や花火大会等の屋外イベント関係者も訪れる、「国内唯一のお天気的神様」として取り上げられるようになりました。

高円寺図書館では「気象」をテーマにした下記の資料を所蔵していますので、関心ある方はぜひご利用ください。

### 【気象関連資料】

- 『トコトンやさしい異常気象の本』 日本気象協会 日刊工業新聞社
- 『気象予報と防災 予報官への道』 永澤義嗣 中央公論新社
- 『異常気象で読み解く現代史』 田家康 日本経済新聞出版社
- 『異常気象と人類の選択』 江守正多 角川マガジンズ
- 『気象・天気の新事実』 木村龍治／監修 新星出版社

昨年12月25日付朝日新聞夕刊に、高円寺氷川神社境内にある「気象神社」が紹介されました。

旧帝国陸軍気象部に1944年に建てられ、祀られていたものを、戦後、1948年に移したものです。

なお、気象部があった場所には、1946年中央气象台研究部が置かれ(翌年、気象研究所と改称)、1980年筑波研究学園都市に移転するまで、気象・地象・水象に関する現象解明と予測の研究に貢献しました。

- 『異常気象と地球温暖化』 鬼頭昭雄 岩波書店
- 『異常気象はなぜ増えたのか』 森朗 祥伝社
- 『気象学入門』 松田佳久 東京大学出版会
- 『気象庁物語』 古川武彦 中央公論新社
- 『図解・気象学入門』 古川武彦 講談社
- 『ゼロから理解する気象と天気のおもしろさ』 森田正光 誠文堂新光社
- 『知識ゼロからの異常気象入門』 斎田季実治 幻冬舎
- 『天気と気象』 佐藤公俊 学研パブリッシング
- 『統計からみた気象の世界』 藤部文昭 成山堂書店
- 『日本の空をみつめて 気象予報と人生』 倉嶋厚 岩波書店
- 『はい、こちらお天気相談所』 伊東謙司 東京堂出版
- 『プロが教える気象・天気図のすべてがわかる本』 岩谷忠幸／監修 ナツメ社
- 『身近な気象の事典』 新田尚／監修 東京堂出版
- 『やさしい山のお天気教室』 栗澤徹 榎出版社
- 『よくわかる気象・環境と生物のおもしろさ』 国立天文台 丸善



〈旧帝国陸軍気象部、及び気象研究所跡〉【現・杉並区立馬橋公園】

## <杉並の作家たち 松本清張>



3月16日から5月12日まで県立神奈川近代文学館で、今年が生誕110年にあたる「巨星・松本清張」展が開催されます。

福岡県に生まれ、小学校卒業後、版下工などを勤めながら独学。小説を書きだしたのは、戦後、40歳を過ぎてからで、『或る「小倉日記」伝』で芥川賞受賞。

1955年『張込み』以後は推理小説に転じ、『点と線』及び、経済界の組織を描いた『眼の壁』の成功で、社会派推理の新生面をひらきました。

『ゼロの焦点』、市井の犯罪を描いた連作短篇『黒い画集』、殺人方法と動機の斬新な『砂の器』、戦時外交の秘話を仮構した『球形の荒野』等を発表。

ルポルタージュ形式の『日本の黒い霧』・『昭和史発掘』(菊池寛賞受賞)や、想像力を駆使して政界の暗部を抉った『迷走地図』なども好評でした。

古代史・考古学へも関心を持ち、『古代史疑』・『私説風土記』のほか、『火の回路』(後に『火の路』と改題)などの推理小説にも生かされ、『天保図録』・『西海道談綺』等の時代小説や、『波の塔』・『砂漠の塩』他で新たな領域の創出に成功しました。1992年逝去。

杉並との関係は、1953年朝日新聞東京本社に転勤となり、単身上京し、荻窪にある叔母の家に下宿。ある日、荻窪に帰るため東京駅にいた時、家族のいる九州行きの汽車を望郷の念にかられて見ているうちに、トリックを思いつき、これが後に『点と線』の4分間トリックとなりました。

1961年、その後住んでいた練馬から自宅を新築した上高井戸に移ります。作品の大半は、ここの書斎から生まれたものです。

『黒い福音』は、杉並で実際に起きた殺人事件を題材にしており、推理小

説というだけでなく、善福寺川など当時の風景が詳細に描写されており、郷土資料としての観点からも優れた内容といえます。

高円寺図書館では下記の資料を所蔵しています。ぜひご覧ください。

### 【松本清張作品】

- ◎『岸田劉生晩景』／新潮社
- ◎『グルノーブルの吹奏』／新日本出版社
- ◎『名札のない荷物』／新潮社
- ◎『吉野ケ里と邪馬台国』／日本放送出版協会
- ◎『隠花平原』上・下／新潮社
- ◎『神々の乱心』上・下／文藝春秋
- ◎『駅路／最後の自画像』／新潮社
- ◎『黒革の手帖』上・下／新潮社
- ◎『私説・日本合戦譚』／文藝春秋
- ◎『けものみち』上・下／新潮社
- ◎『球形の荒野』上・下／文藝春秋
- ◎『絢爛たる流離』／文藝春秋
- ◎『小説帝銀事件』／角川書店
- ◎『聖獣配列』上・下／文藝春秋
- ◎『棲息分布』上・下／文藝春秋
- ◎『軍師の境遇』／角川書店
- ◎『黒の様式』／新潮社
- ◎『蔵の中』／角川書店
- ◎『死の発送』／KADOKAWA
- ◎『火神被殺』／文藝春秋
- ◎『火の路』上・下／文藝春秋
- ◎『砂の器』上・下／新潮社
- ◎『松本清張集 新潮日本文学50』／新潮社
- ◎『松本清張全集』全66巻／文藝春秋
- ◎『証明』／文藝春秋
- ◎『声』／光文社
- ◎『西郷札』／光文社
- ◎『殺意』／光文社
- ◎『無宿人別帳』／文藝春秋
- ◎『青春の彷徨』／光文社
- ◎『鬼畜』／光文社
- ◎『誤差』／光文社
- ◎『遠くからの声』／光文社
- ◎『空白の意匠』／光文社
- ◎『決戦川中島』／一草舎出版
- ◎『砂の審廷』／筑摩書房
- ◎『史観宰相論』／筑摩書房
- ◎『共犯者』／新潮社
- ◎『武士くずれ』／中央公論新社
- ◎『波の塔』上・下／文藝春秋
- ◎『黒の回廊』／光文社
- ◎『落差』上・下／角川書店
- ◎『溺れ谷』／光文社
- ◎『黒い福音』／新潮社
- ◎『点と線』／新潮社
- ◎『松本清張傑作選』全6巻／新潮社

### 3 月 <高円寺図書館カレンダー>

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
<u>3</u>	④ 休館日	5	6 春のスペシャルお話し会	7	8	9
<u>10</u>	11	12	13 あかちゃんタイム あかちゃんお話し会 お話し会	14	15	16 講演会
<u>17</u> 春をよぶお話し会	18	19	20 お話し会	<u>21</u>	㉒ 休館日	23
<u>24</u>	25	26	27 お話し会	28	29	30
<u>31</u>						

○…休館日      下線…午後5時閉館

【開館・貸出時間】 月曜～土曜…午前9時～午後8時

日曜・祝日…午前9時～午後5時

【休館日】 (祝日と重なったときは直後の平日が休館日となります。)

第1月曜日…高円寺は休館ですが、中央他区内6館は開館しています。

第3木曜日…全館休館日です。

### 4 月

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
<u>7</u>	8	9	10	11	12	13
<u>14</u>	15	16	17	⑱	19	20
<u>21</u>	22	23	24	25	26	27
<u>28</u>	<u>29</u>	<u>30</u>				